

ケアマネ通信おびひろ

第18号

平成20年2月5日

帯広市介護支援専門員連絡協議会

発行責任者 笠松 信幸

学習会報告

スッキリする事例検討 肩の力が抜けるグループビジョン、やってみませんか？(実践版)

11月13日(火) 18:30~20:30 グリーンプラザにて
テーマ「スッキリする事例検討、肩の力が抜けるグループビジョン、やってみませんか？(実践版)」が開催されました。事例を提供したお2人より感想を寄せていただきました。

肩の力が抜けるグループビジョン、やってみませんか？(実践版)

根っこの部分の整理が 大切なのだと実感

帯広市社会福祉協議会 城地民子

昨年4月からケアマネジャーの仕事をしていただいております。この世界は、机上で学んできたことが100%ではないことがよくわかりました。たぶんそこには、人としての感情や個人の生き方が当然のことながら存在しているからなのだと思います。

そんな世界で私はただ、制度と書類とペンを振り回して対峙しているものだから、その枠から少しでもはみでると「困ったなあ」ということになるのです。利用者との関わり方や、サービスの利用の仕方だけではなく、私自身の取り組み姿勢やあり方も教えていただきました。目先の困りごとに振り回されるのではなく、根っこの部分の整理が大切なのだと。そして「北風と太陽」「アメとムチ」「ハード面とソフト面」、これらの両立が大切なのかもしれません。

事例を提示するとき、こんな低レベルなことで悩んでいるのかも…と書いていたのですが、皆さんから親身な助言をいただき本当に感謝しています。また発表の時も、自分の事例が紹介されることで、ドキドキしていましたが、発表者の方が「星3つ頂きました〜！」と会場の雰囲気をもたせ、私を緊張地獄から救ってくれました。このナイスフレーズに星みつつう〜！！

利用者の不安や悩みを 感じ取れるケアマネに

ビリーブ 佐藤篤史

スーパービジョンの事例を提出させてもらうことになり、一年近く問題が絶えない利用者とその家族の事例を発表させていただきました。経験豊富な主任ケアマネさんに客観的なアドバイスをいただけるのは貴重な経験であり今後のケアについてのヒントを沢山いただきました。

グループワークの面接の中で問題点を一つ一つの確に引き出す手技は自分が日々利用者や家族に相談を受ける時の基礎にも繋がります。大変参考になりました。

他の困難事例発表の主任ケアマネさんの対応を聞いて、利用者の不安や悩みを感じ取れるもっとも近いポジションにいるケアマネジャーとしてもっとレベルアップして対応に臨まなければならないと改めて感じた勉強会でした。

スーパービジョン研修用 DVD貸し出し中

「気づきの事例検討会—スーパービジョンの要素を取り入れて実践力を磨く」
(渡部律子:監修/奥川幸子:協力)

スーパービジョンによる事例検討会とロールプレイが入った90分間のDVD。スーパーバイザーがいないなか、どうやって実践力を高めていけばよいのか…。現場実践者の多くがぶつかっている悩みに応えるビデオ。グループスーパービジョン形式の事例検討会の方法を詳細に紹介し、具体的な展開方法を習得することができます。(シナリオ・解説付)

【主要目次】

事例の提出理由/事例の概略説明/初回面接の状況/初回面接(ロールプレイ)/初回面接の感想/その後の展開/事例検討/事例提出者の気づき/参加メンバーの感想

【借りたい方は】

申込用紙(HPにあり)に記入し、事務局の金森さんまでFAX(=21-3240)にてお申し込み下さい。先に申込者がいた場合には、第一希望の日時にお貸しできない場合もあります。

ケアマネ連協忘年会

飲んで歌って
語り合って

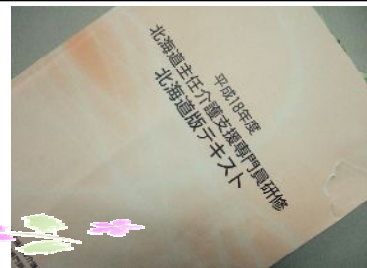
新人ケアマネからベテランまでの多彩なメンバーの参加をいただき、忘年会が行われました。スピーチの場面では、時間が足りなくなるのでは？と心配するほど大いに盛り上がり、楽しくなごやかな会になりました。

忘年会は役員が参加するものと遠慮されている皆様、そんなことはありません。来年は是非参加して、ケアマネの輪を作っていきましょう。研修のときは違うケアマネたちの顔が見えてきます



職場で地域で…会の皆様に 私をツールとして使って下さい

【19年度北海道主任介護支援専門員研修を終えて】



帯広厚生訪問看護ステーション 後藤和子

主任研修は、札幌・旭川・釧路を会場に昨年11月から今年の2月にかけて開催されています。私は釧路で11月に前期5日間、後期3日間を12月に、合計64時間の研修を終了しました。これ程長く職場も家も空けるのは初めてでしたので、とても不安でした。

前期の研修は、9時から午後7時までのハードスケジュールです。主任介護支援専門員の役割・視点・倫理・リスクマネジメント・ターミナルケア・スーパービジョン（対人援助監督指導）等知識がどんどん詰め込まれ、消化不良気味で疲労困憊でした。ホテルに戻り温泉で足を伸ばし、翌日の活力を養っていました。

主任介護支援専門員への役割期待や求められる事が多く、学んだ事が生かしていけるのかとまたまた不安に陥っていました。

研修中私は「難しい」という言葉をよく発しておりスーパービジョンの講師宮崎先生から、「難しいと言った時点で思考は止まっている。前には進めない。」と指摘を頂き、その日から「難しい」は禁句にしようと決心しました。

悩んだ時には頂いた多くの資料を開いたり、「介護支援専門員の倫理要綱」に立ち返れば良いと思えるようになりました。

後期の研修は事例を基に3日間、グループスーパービジョンの実践です。

事例提供者にメンバーが、気づきを深められる質問をしていく事で、提供者が自分のつまずきに気づき、涙を流しすっきりする。皆それぞれが苦しみがき、懸命に立ち向かおうとしている姿に感激です。他の人のつまずきは見えるのに、自分の事になるとぐるぐるの渦の中でさっぱり見えません。「自分の事は見えない」を強く認識しました。平穏な心で仕事を継続していく為には、時には専門家の支援を受ける事も必要なんだと思いました。

多くを語りわかり合えた新たな人との出会いは、私の宝物になりました。

さて、この貴重な時間で頂いた学びをより確実な物にして行く為に、すなわちまだまだ未熟な私が成長する為に、職場で地域で会の皆様に私をツールとして使って頂くのが何よりです。

最期になりましたが、長期の研修参加に協力して頂いた職場の皆様に感謝します。



包括立ち上げにあたふた… たくましさを武器に荒波を乗り越えて

幕別町地域包括支援センター 金田一宏美

平成18年4月、就職して〇十年、初の人事異動で地域包括支援センターに配属されました。介護保険スタート当初は保健部門にあり、介護保険の詳細もわからず地域包括支援センターの立ち上げに、あたふたした毎日を送っていました。

こんなにしたことがないというくらい連日の残業に、いつか倒れる、いつか痩せる、いつかバーンアウトすると心配していましたが、気づくともうじき2年…、時が経つのは早いものですね。倒れもせず、痩せもせず、バーンアウトもせず働き続け、おまけに人間ドックでは異常なし。私って「たくまし〜い！」ヒトでした。（「見た目通り」なんていうのはだれですか！）

この「たくましさ」を武器に、まだまだ課題は山積みですが、介護保険の荒波を乗り越えたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

ひとりぼっちのケアマネを作らない 入ってよかった！ケアマネ連協

居宅介護支援事業所はなえみ 掛端 恵美子

6年前に「在宅を支えたい」思いから介護の仕事に就きましたが、いざ始めてみますと『在宅介護の難しさ』や『在宅の限界』を痛感する事も多くありました。

2年が過ぎた頃でした。独居で身寄りのない方が『在宅の限界』で施設入所を決心されて、虚しい気持ちを引きずりながらご挨拶に訪問すると、開口一番「今までお世話になりありがとうございます。皆が助けてくれたお陰で、私は、2年も長くこの家で暮らす事ができたんだよ。」との言葉を聞きました。その後、私自身の中で『在宅の限界』を消化吸収する事ができて、現在に至っています。

昨年の10月からケアマネ連協へ入会し勉強させて頂いております。2回の勉強会に出席し「ひとりぼっちのケアマネを作らない」と聞く度に、昨年ひとりケアマネに就いた私は「入って良かったケアマネ連協！！」と感謝しています。

今年もどうぞ宜しくお願い致します。